



12/21

大相撲沖縄場所 in 沖縄アリーナ

令和6年
冬巡業



令和6年冬巡業 大相撲沖縄場所が沖縄アリーナで開催されました。県内での開催は5年ぶり。沖縄市での開催は、昭和58年以来41年ぶりとなりました。

沖縄アリーナには今年の巡業最多の1万67人が来場し、満員御礼の札が掲げられました。

横綱、三役、幕内力士のほか、巡業一行158人が沖縄市入りしました。地方巡業ならではの力士が歌う「相撲甚句」や、相撲の禁じ手を面白おかしく実演する「初切」のほか、横綱・照ノ富士の土俵入りでは観客席から「よいしょ」の声とともに大きな歓声が上がりました。

県勢力士は那覇市出身の嘉陽、宮古島市出身の出羽大海、うるま市出身の千代の勝、宜野湾市出身の立王尚、伊江村出身の島袋、竹富町出身の竹葉が参加しました。



横綱土俵入りを務める照ノ富士



こども達と相撲をとる嘉陽(那覇市出身)



相撲の禁じ手を実演する「初切」



巧みな技を繰り出す豊昇龍



髪結実演で大銀杏を結う宇良



トーナメント戦で優勝した豊昇龍



弓取り式を務める立王尚(宜野湾市出身)



華やかな化粧まわしが並ぶ土俵入り

1/10 令和7年 沖縄市新年祝賀会



市民と共に新年を祝い、市の繁栄を願う「令和7年沖縄市新年祝賀会」が沖縄市体育館で開催され、約1200人の市民らが参加しました。

会では、令和6年叙勲等受章者が紹介され、花束が贈呈されました。令和6年は19人が受章しました。沖縄市芸能団体協議会によるかざやで風で幕開けのほか、鏡開きや演奏、tidanomiyuki (ティダノミユキ)の弾き語りなどが披露され、祝宴を盛り上げました。



令和6年叙勲等受章者(敬称略)

◆ 春の叙勲受章者

旭日小綬章 新垣 直彦(産業振興功労)
旭日双光章 石垣 和博(司法書士功労)
旭日双光章 桑江 喜代子(保健衛生功労)

◆ 第42回危険業務従事者叙勲受章者

瑞宝双光章 親川 博(警察功労)
瑞宝単光章 大底 紀雄(警察功労)
瑞宝単光章 儀間 裕視(警察功労)
瑞宝単光章 久場 稔(消防功労)
瑞宝単光章 塩澤 公男(防衛功労)
瑞宝単光章 楚南 邦武(警察功労)

◆ 第43回危険業務従事者叙勲受章者

瑞宝双光章 浜比嘉 春一(警察功労)
瑞宝双光章 平川 清(警察功労)
瑞宝単光章 金城 正和(消防功労)

◆ 令和6年高齢者叙勲受章者

瑞宝双光章 嘉数 喜孝(教育功労)
瑞宝小綬章 比嘉 強(教育功労)
旭日単光章 島袋 善榮(地方自治功労)
瑞宝双光章 當間 嗣盛(郵政事業功労)
瑞宝双光章 中地 名吉(教育功労)
旭日単光章 比嘉 功助(地方自治功労)
瑞宝双光章 新城 勇(教育功労)

1/11 令和7年 沖縄市消防出初式



令和7年沖縄市消防出初式が、沖縄市消防本部で行われました。式典では、功労あった消防職員・消防団員らへの表彰状授与などが行われました。

展示訓練の部では、消防職団員による観閲式が実施されました。光の子保育園の19人の園児は、「わが家の住警器」の曲に合わせお遊戯を披露し住宅用火災警報器の設置の啓発を行いました。室川保育園の22人の園児は、消防お神輿を担ぎ、場内を一周し防火周知活動を行い、美来工科高校が作成したミニポンプ車に乗車し本番さながらの放水消火活動を披露しました。また、消防団員による心肺蘇生・AED取扱・消火器取扱訓練も行われました。式の締めくくりには消防職員による火災消火・救助、懸垂降下、はしご登はん、ロープ渡過、一斉放水が行われ、大勢の人が見守るなか日頃の訓練が披露されました。女性防火クラブによる炊き出し訓練も行われました。



12/8 50音(GO-ON～進み続ける～)



「コザ」で会場を盛り上げるネーネーズ

おきなわ音楽月間2024の一環として「50音(GO-ON～進み続ける～)」が、沖縄市民会館大ホールで開催されました。

このイベントは沖縄市市制施行50周年を記念し、1974年～2024年の50年間を振り返り、沖縄市出身、または沖縄市に縁のあるアーティストや音楽関係者が集い、コザをテーマにした曲など全50曲のライブパフォーマンスを披露しました。ロックバンドや民謡歌手など多彩なジャンルから有名アーティストが多数出演するチャンプルーなイベントとなり、満員で熱気あふれる会場は大いに盛り上がりました。



大トリは紫 会場のボルテージは最高潮に



エイサーメドレーでは会場から歓声と指笛も



観客とふれあういっこく堂と師匠



客席に降り、歌いながら踊る饒辺愛子



司会はお馴染み 宮島真一&糸数美樹



透明感のある歌声で会場を魅了する安次嶺希和子



佐渡山豊と国吉亮のギターセッション



「島唄」で会場を沸かせた 宮沢和史



パワーあふれる演歌を披露 石原まさし

12/23 新商品アワード授賞式

市内の3年以内に開発された新商品を対象とした「沖縄市新商品アワード」の授賞式が市役所で行われました。

今回エントリーがあったのは16商品。そのうち最高金賞に2商品、金賞に5商品、優良賞に7商品が輝きました。

最高金賞には、ボーンブロスのスパイスカレーとコザレトロアップルパイが選ばれ、審査員から、スパイスカレーは「申し分のないおいしさ。ターゲットである健康志向の高い方に非常に適した商品」、アップルパイは「味とボリュームのバランスがよく、特に生地の味わいは絶品」との評価が寄せられました。



▲ボーンブロスのスパイスカレー

▲コザレトロアップルパイ

最高金賞(GRAND GOLD AWARD) 2商品

- ◆ ボーンブロスのスパイスカレー (BoneBrothFactoryOkinawa)
- ◆ コザレトロアップルパイ(zazou)

金賞(GOLD AWARD) 5商品

- ◆ ゴーヤーチップス(竹商事)
- ◆ 琉球PANAカヌレ (グルテンフリースイーツGLÜCKS)
- ◆ 青紫蘇油味噌(RYUQ'S)
- ◆ とびんすはにんすていばなウェディングパール (FABRIC SHOP MINAMI)
- ◆ ミニショルダーバッグ (知花花織事業協同組合)

優良賞(EXCELLENCE AWARD) 7商品

- ◆ 沖縄ポチ袋セット (Ayane Design Labo)
- ◆ ワイヤレス充電木 (木工房 秀暖～SHUUDAN～)
- ◆ 沖縄薬膳華みそサーターアングギー (ハイビスカスクッキングスクール)
- ◆ ウッドウォッチ(アルバトロス)
- ◆ Island Hot Sauce(Brother's Rock)
- ◆ 黒糖ホイップマラサダ (Fluffy Coconut)
- ◆ KOZA HONEY(小浜養蜂場)



12/4 沖縄市スポーツ協会創立50周年記念式典

沖縄市スポーツ協会が創立50周年を迎えたことを記念して、創立50周年記念式典・祝賀会が沖縄市体育館で行われました。

創立50周年を記念し、長年にわたって支援・発展に寄与してきた11人に特別功労表彰の授与、4団体に感謝状の贈呈が行われました。

また、「第76回沖縄県民体育大会」の結果報告も行われ、各種目で活躍した沖縄市選手団が参加しました。陸上競技・三段跳びで11連覇を達成した屋良太章選手に優秀競技者特別賞が授与されました。

【特別功労表彰受賞者】

島袋 隆司、伊禮 幸子、高森 新一、仲松 弥恵、當眞 嗣秀、比嘉 秀雄、金城 昇、新城 孝弘、嘉陽 美沙子、仲村 清雄、栗岡 謙次

【感謝状授賞団体】

デイゴホテル、ホテルニューセンチュリー、クラウンホテル、台北駐日経済文化代表處那覇分處



12/7・8 U-15サッカー親善フェスティバル開催

各地のチームとの交流戦を通して競技力の向上を目指して、沖縄市国際ユースサッカー親善フェスティバルが沖縄市陸上競技場で行われました。

沖縄県内のチームだけではなく、国際交流の一環として県外や海外からのチームも参加し、計6チームが2日間にわたって熱戦を繰り広げました。

【参加チーム】大宮アルディージャ、忠北清州FC（韓国）、TCLS樂活豹（台湾）、FC琉球OKINAWA U-15、JFATレセン沖縄U15、エステピコ（市内クラブチーム）



12/7 図書館セミナー ももココロ氏講演会

琉球新報で4コマ漫画「がじゅまるファミリー」を連載中のウチナー漫画家 ももココロ氏によるセミナー「4コマ漫画で残したい沖縄のチムグクル」が沖縄市立図書館にて開催されました。

がじゅまるファミリー新聞連載20周年を迎えての話や、4コマ漫画の作品の中から沖縄の風習やまごころ、また作品が生まれた背景等について紹介され、大人から子どもまで楽しんでいました。

セミナーではがじゅまるファミリーのイラスト原画展も開催され、色鮮やかな原画に来場者も見入っていました。



12/8 みんなで楽しむカローリング大会

年齢を問わず誰でも楽しむことができるカローリング（カーリングを床で行うニュースポーツ）の普及と競技を通して地域交流や世代間交流をはかることを目的に、「令和6年度沖縄市カローリング大会」が沖縄市体育館で開催され、93人が参加しました。

大会には16チームが出場し、参加者は和気あいあいとした雰囲気の中、優勝を目指しながら試合を楽しみました。



12/13 食生活から健康を目指して

「私達の健康は私達の手で」をスローガンに、地域に密着した健康づくりのボランティア活動を行う沖縄市食生活改善推進協議会による「第18回ミニ健康展」が市役所で開催されました。

会場では活動紹介のパネル展示のほか、ヘルシーメニューのレシピ配布や、血管年齢測定・1日に必要な量の野菜測定コーナーなどがあり、普段の食生活の見直しに役立つ知識を得ながら、健康づくりを考える機会となりました。



50th おきなわ市トピックス

12/17 アンコンシャスバイアスってなあに？

山内小学校の1、2、4年生を対象に、一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所 認定トレーナーの比嘉華奈江氏による「アンコンシャスバイアス講座」が行われました。

アンコンシャスバイアス(unconscious bias)とは、他者や自分、モノなどに対する自覚のない思い込みのことを指し、日本語では「無意識の思い込み」などと訳されます。

講座を受講した児童は「人に聞かずに判断しないこと、自分の嫌なことや良かったことをしっかり大切に、意見を言うことが大事だと思いました」と感想を話しました。



12/17～20 中央公民館展示発表会

沖縄市中央公民館で開催した講座や、地域の公民館で開催した自治公民館講座、家庭教育・地域教育学級および中央公民館サークルの活動成果を発表する「令和6年度中央公民館展示発表会」が市役所で開催され、活動の紹介や手芸・書道などさまざまな成果作品が展示されました。

展示会期間中には月桃しめ縄作り体験講座が行われ、参加者は実際に手作りする楽しさを体験しました。



12/23 窓口利用体験調査の実施

市役所の通常業務を行っているだけでは気づかない、窓口業務の改善点・課題の確認を目的に、窓口利用体験調査が実施されました。

今回の体験調査では、市職員が利用者の立場となって転入・転居などの手続きを実際の窓口で体験し、利用者側の視点から記録・検証を行いました。

調査後にはワークショップが実施され、全体での振り返りとともに改善点の共有が行われました。



12/25 兄妹揃って空手の全国大会へ出場

「白蓮会館コザ道場」より園吉琉介さん(宮里小5年)、園吉琉愛さん(宮里小4年)らが市役所を訪れ、11月に行われた「2024沖縄空手道新人戦」の小学校5年男子の部と小学校4年女子の部において優勝し、1月26日に大阪で開催される「第7回W・K・Oジャパンスリートカップ決勝大会」へ兄妹揃って出場することを報告しました。当大会では、直接打撃を行うフルコンタクトルールで戦います。

琉介さんは「優勝できるよう精一杯頑張ります」、琉愛さんは「色々な技を出して優勝します」と意気込みました。



12/26 国際少年野球選手権大会出場の報告

山内中学校3年生の宮城寛士さんが市役所を訪れ、野球のヤングリーグ九州沖縄選抜チームの一員に選ばれ、1月1日から6日にかけて台湾で開催される「台南市第14回巨人杯国際少年野球選手権大会」に出場することを平田副市長に報告しました。

宮城さんは「個人としてもチームとしても良い成績を残せるように頑張ります」と意気込みを述べました。平田副市長は「萎縮することなく、日頃の練習の成果を発揮して頑張ってください」と激励の言葉を送りました。



12/27～12/29 第33回かりゆし交流学童軟式野球大会

県外から少年野球チームを招き、青少年の健全育成と指導者の交流を図ることを目的に「第33回かりゆし交流学童軟式野球大会」がコザしんきんスタジアム他10会場で開催されました。

大会には市内から15チーム、市外から24チーム、県外より9チームの48チームが参加し白熱した戦いがくり広げられました。

優勝 千葉ドリームス(千葉県)
準優勝 久慈選抜(岩手県)
3位 長住少年野球部(福岡県)、ポルテベースボールクラブ福岡(福岡県)



～寄付・寄贈等～
皆さまのご厚意に感謝申し上げます。

寄付金等贈呈式を行った皆さまをご紹介します。
いただいた寄付金等は、有効活用いたします。

12/9 株式会社仲本工業
(代表取締役社長 仲本 豊)

沖縄市
育英会へ
寄付金
100万円



12/5 沖縄商工会議所 (会頭 宮里 敏行)

沖縄市の
産業振興へ
寄付金
517,105円



12/11 株式会社佐久本工機
(代表取締役社長 佐久本 嘉幸)

沖縄市社会
福祉協議会へ
お米 350袋
(1,750kg)



12/18 株式会社上門工業
(代表取締役 上門 信孝)

沖縄市社会
福祉協議会へ
寄付金
50万円
沖縄市
育英会へ
寄付金
50万円



12/18 上門工業株式会社
(代表取締役 上門 信孝)

沖縄市社会
福祉協議会へ
お米 1,000袋
(3,000kg)



12/19 ヘルプオキ合同会社(代表 クリス ネズビット、
フードバンク責任者 アイボリ モリーナ、困窮
世帯支援責任者 シャノン シャフアー)

沖縄市社会
福祉協議会へ
食料品、日用品
400kg



12/25 株式会社沖縄ファミリーマート
(代表取締役社長 糸数 剛一)

市内こどもの
支援活動へ
寄付金
1,878,290円

